

6月5日（水）避難訓練（火災） 校長の話

おはようございます。今日は、あえて「元気ですか」を言いません。時と場をわきまえているからです。命にかかわる訓練ですから、しっかりとお話を聴いてほしいと思います。

さて、火事の放送があって、ここに全員集合完了するまでの時間は、4分29秒でした。早いかどうか、比べるものがないのでわかりませんが、652名がこの5分以内に、ここまで全員集まったのは、速いのではないかと思います。

その原因は、たぶん次の2つのことができていた人が多かったのではないかと思います。

1つめは、避難の仕方です。

「おはしも」は、おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ということですが、4つ全部できた人、手を挙げましょう。

普段、例えば大休憩や昼休憩の前でも、速く遊びたいという気持ちをおさえて、落ち着いて歩いているかどうか、いらぬときには、黙っているくせがついているかどうか、普段からがんばっている人が多かったからでしょう。

それと、もう1つ、付け加えると火事ときには煙に注意ということです。そのために、まず、ハンカチなどで口を押さえる、マスクをしている人もいました。そして、煙は上に上がるので姿勢を低くして逃げるのが大切です。知っておいてください。

2つ目のお話。訓練の心構えです。

今の訓練、真剣にできていた人が多かったようです。大竹小学校で、もし、火事が起こって、652人の子供の内、亡くなった子が1人だけで、良かったと言えますか。1人でも亡くなってはいけません。全員が助からないといけません。そのための訓練です。だから、真剣にやります。

最後に1つ、自分で考えて避難するためにとのお話です。

学校で、火事が、いつ発生するかわかりません。今日はたまたま授業中の理科室という想定でした。実際には、休憩時間かも、給食時間かも、掃除時

間かも・・・わかりません。学校の、どこで発生するかもわかりません。今日は、理科室でした。家庭科室かも、職員室かもわかりません。

さらに、例えば、理科室と職員室とか、2か所同時に発生するかもしれません。どうやって逃げますか。

ですから、避難するときは、自分で考えて火事が起きているところから離れて逃げるということです。

以上、避難の仕方、訓練の心構え、自分で考えて避難するために、というお話をしました。